

2 (3) 授業の質的改善のプロセス

イ B校（第5学年）の実践

(7) 手引きを活用した授業の質的改善の推移

2 (2) 授業の見直しと質的改善を図るための手立てに沿って、実際に授業の質的改善を図ったB校第5学年の実践を紹介します。まず、チェックリスト（図1）で改善をどこから始めるか決めました。

【チェックリスト】	
手引きを使う前に、以下の質問に答えてください。 toppage	
Q 1 社会科の単元づくりを、「問題解決的な学習」を意識して行っていますか？ ※「問題解決的な学習」とは、「①社会的事象と出会う ②学習問題を見いだす ③予想や学習計画を考える ④予想や学習計画に基づいて追究する ⑤調べて分かったことや考えたことをまとめる ⑥新たな問題を見いだす」 の学習展開で構成された単元計画とします。	
A : 行っている → Q 2 へ	
Q 2 次の項目に幾つ当てはまりますか。 ☒ 児童の「あれ？」「どうしてかな？」「こうなんじゃ？」 疑問や予想を引き出している。 ☐ 学習問題を児童の言葉を引き出しながらつくっている。	
A : 2つ当てはまる。 → Q 3 へ	A : 0又は1つ当てはまる。 Click
Q 3 次の項目に幾つ当てはまりますか。 ☐ 学習問題を解決するために、何を調べるとよいのか見通しをもたせている。 ☐ 学習問題を解決するために、どんな方法で調べるとよいのか見通しをもたせている。 ☐ 学習問題の答えを予想させている。	
A : 3つ当てはまる。 → Q 4 へ	A : 0又は1つ～2つ当てはまる。 Click
Q 4 次の項目に幾つ当てはまりますか。 ☐ 調べることを明らかにして、調べ学習ができるようにしている。 ☐ 調べたことを、ペアやグループ、学級全体で共有するようにしている。 ☐ 調べたことをもとに、考えることができるようにしている。 ☐ 考えたことを、ペアやグループ、学級全体で交流するようにしている。	

図1 チェックリスト

指示された「手引き」のページ



学習過程 観点	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
知識	(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。□⇒C①②③④⑤ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。□⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⇒D①⑥⑩ (3) 個別の具体的な知識に関する内容を総合して（まとめて）、記述することができる。□⇒C①②③④⑤⇒D①⑧⑨⑩⇒E①②③④					
技能 (収集する 読み取る まとめる)	(1) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために必要な資料を集めることができる。□⇒C①②③ (2) その資料がどのような資料に分かっている。□⇒C⑥⑦⑧ (3) 事実を正確に読み取っている。□⇒C④⑤⑥⑦⑧ (4) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために有用な情報を選んで読み取っている。□⇒B①⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。□⇒C⑥⑦⑧⑨⑩					
思考・ 判断・ 表現	(1) 資料を基に気付きをもつことができる。□ ⇒A①② (2) 資料を基に疑問をもつことができる。□ ⇒A①②③ (3) 疑問に対して、予想を考えることができる。□ ⇒A⑤⑥ (4) 気付きや疑問から、キーワード（問い）をつくることできる。□ ⇒A④⑤⑥⑦ (5) キーワード（問い）を関連付けて、大きな問いをつくることできる。□ ⇒A④⑦⑧⑨	(1) 学習問題に対して、予想を考えることができる。□ ⇒B① (2) 自分が調べたいことを考えることができる。□ ⇒B①② (3) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。□ ⇒B①②③	(1) 本時で分かったこと、今までに学習してきたこと、自分の考えから何えること ⇒C①②③④ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。□ ⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) から順番に チェックしよう。 		
主体的に学習に取り組む態度	(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しをもっている。□⇒B①②③⇒C①②③ (2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているのか理解している。□⇒B①②③⇒C①②③④ (3) 社会的事象について、実感や切実感をもって調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。□⇒A①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ (4) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。□A①⇒F①②③④					

学級全体と抽出児（図 1）の分析を基に、三つの資質・能力「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」が身に付いたのかどうかを検証しました。検証においては、新しい評価の 3 つの観点に沿って分析・考察します。ただし、「知識・技能」は、現行の評価の観点「社会的事象についての知識・理解」と「観察・資料活用の技能」として、「主体的に学習に取り組む態度」は、現行の評価の観点「社会的事象への関心・意欲・態度」とほぼ同じと捉えて、評価・分析することにしました（表 1）。

M 児	
	社会的事象への関心が高い。友達との意見交流などを基に、自分の考えを表現することができる。

図 1 抽出児のプロフィール

表 1 新学習指導要領と現行の学習指導要領の評価の観点

新学習指導要領	現行の学習指導要領
知識・技能	社会的事象についての知識・理解
	観察・資料活用の技能
思考・判断・表現	社会的な思考・判断・表現
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象への関心・意欲・態度

【実践 1】 6 月～7 月実践

学習過程 観主	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
知識	(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。☑⇒C①②③④⑤ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。☐⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⇒D①⑩⑪ (3) 個別の具体的な知識に関する内容を総合して（まとめて）、記述することができる。☐⇒C①②③④⑤⇒D①⑧⑨⑩⑪⇒E①②③④					
技能 (収集する 読み取る まとめる)	(1) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために必要な資料を集めることができる。☑⇒C①②③ (2) その資料がどのような資料に分かれている。☐⇒C⑥⑦⑧ (3) 事実を正確に読み取っている。☐⇒C④⑤⑥⑦⑧ (4) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために有用な情報を選んで読み取っている。☐⇒B①⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。☐⇒C⑥⑦⑧⑨⑩					
思考・ 判断・ 表現	(1) 資料を基に気付きをもつことができる。☑⇒A①② (2) 資料を基に疑問をもつことができる。☑⇒A①②③ (3) 疑問に対して、予想をすることがある。☐⇒A⑤⑥ (4) 気付きや疑問から、キーワード（問い）をつくることができる。☐⇒A④⑤⑥⑦ (5) キーワード（問い）を関連付けて、大きな問いをつくることができる。☐⇒A④⑦⑧⑨	(1) 学習問題に対して、予想をすることがある。☐⇒B① (2) 自分が調べたいことを考えることができる。☐⇒B①② (3) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。☐⇒B①②③	(1) 本時で分かったことを基に、学習問題の解決のために次から何を調べるとよいか考えることができる。☐⇒C①②③④⑤ (2) 調べた内容を整理し、まとめることができる。☐⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) 調べた事実を基に、考えられることを導き出すことができる。☐⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。☐⇒D②③④⑤ (3) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えることができる。☐⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。☐⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) これまでに学習してきたことを基に、自分の考えをもつことができる。☐⇒E①②③④ (2) 友達のを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。☐⇒E①②③④	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。☐⇒F④ (2) 新たに調べたいことを考えることができる。☐⇒F①②③
主体的に学 習に取り組 む態度	(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しをもっている。☐⇒B①②③⇒C①②③ (2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているのか理解している。☐⇒B①②③⇒C①②③④ (3) 社会的事象について、実感や切実感をもって調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。☐⇒A①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ (4) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。☐A①⇒F①②③④					

☑ …できていると判断した児童の姿

☐ …今月実践の単元で目指す児童の姿

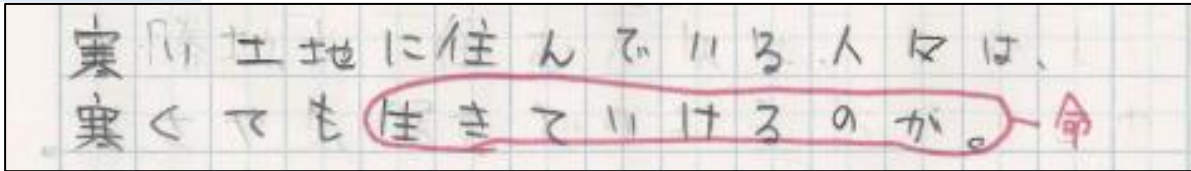
学習過程 手立て	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
手 立 て	A①身近なことを題材に挙げる。☐ A②資料提示の工夫（資料の一部を隠すなど）を行う。☐ A③題材に対して気付きや疑問をもたせる。☐ A④気付きや疑問を教師が意識的に仲間（キーワード）分けして板書する。☑ A⑤気付きや疑問に対して、問い返しをしながら、児童に予想を出させる。☑ A⑥自分の考えをもちやすい場面（予想など）で、自分と相手の意見が同じか違うか考えさせながら対話させる。☑ A⑦気付きや疑問を基に、調べたいことを考えさせる。☐ A⑧調べていきたいことを学習問題として書かせる。☐ A⑨個別にもった学習問題を全体で交流し、学習問題を設定する。☐	B①学習問題の解決のために何を調べるとよいかを考えさせる。☐ B②調べるとよいか考えたことをグループで話し、何から調べたらよいか考えさせる。☐ B③学習問題の解決のために何を調べるとよいか調べる方法を考えさせる。☐	C①学習問題を確認する。☐ C②調べた内容を図や表に表し、単元全体を見通すことができるようにする。☐ C③学習問題と学習計画を教室内に掲示し、常に振り返らせる。☐ C④調べた内容（視点）を確認する。☐ C⑤調べた内容について、予想をさせる。☐ C⑥資料（写真、教科書等の文章等）を一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。☐ C⑦教師が指示した資料で調べさせる。☐ C⑧立場ごとに、資料を分けて提示する。☐ C⑨様々な資料を見せ、読み取りの視点を増やす。☐ C⑩学習問題や学習課題（本時のめあて）の解決に必要な情報であるのか考えさせる。☐ C⑪調べた内容をペアやグループで伝え合わせ、確認させる。☐ C⑫調べた内容について、問い返して、事実を相互に関連付けて考えさせる。☐ C⑬学習問題について、学習課題（本時のめあて）とのつながりを考えて記述させる。☐	D①事実を調べた後に、意味を問う疑問を段階的に行う。☐ D②調べた事実と考えを明確に分けさせる。☐ D③根拠となる資料を確認する。☐ D④話し合いの目的・ゴールを示す。☐ D⑤考えをペアやグループで伝え合わせる。☐ D⑥視点を基に、考えをもたせる。☐ D⑦視点同士を比較させ、考えをもたせる。☐ D⑧まとめ方を例示する。☐ D⑨キーワードを挙げる。☐ D⑩まとめ方に関する判定基準を示す。☐ D⑪提示物を活用し、これまでの学習を振り返らせる。☐	E①単元全体のまとめ方を例示する。☐ E②キーワードを挙げる。☐ E③単元全体のまとめ方に関する判定基準を示す。☐ E④ノートやワークシート、提示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。☐	F①新たな学習問題を提示する。☐ F②社会的問題を含んだ資料を提示し、学習問題を設定する。☐ F③ゲストティーチャーに新たな学習問題につながる情報を話してもらう。☐ F④学んだことと自分たちの生活（自分にできること）をつなげて考えさせる。☐

☑ …現在取り入れていると判断した手立て

☐ …今月実践の単元で取り入れることを決定した手立て

単元「寒い土地の暮らし」

目指す姿（技能）
その資料がどのような資料か分かっている。
取り入れた手立て（手引きの記号、番号）
資料（写真、教科書等の文章等）を一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。（C⑥）
↓
以下のA, B, Cの判定基準で評価の計画をしていたが、十分にできなかった。
A 何が書かれている資料が分かり、言葉の意味（降水量、平均気温など）が分かっている。
B 何が書かれている資料が分かっている。（帯広の雨温図、など）
C 断片的に資料を読み取っている。（縦軸・横軸や、大体の数値など）
【考察】
北海道と佐賀の平均気温と降水量を資料として提示した。しかし、書かせたり発表したりする場面がなかったので、評価が十分にできなかった。そのため、評価を適切に行うことができるように、児童一人一人の学習状況を適切に把握する場面を設定したい。

目指す姿（思考・判断・表現）
気付きや疑問から、キーワード（問い）をつくることができる。
取り入れた手立て（手引きの記号、番号）
気付きや疑問を基に、調べていきたいことを考えさせる。（A⑦）
↓
児童のワークシートの記述を基に、以下のA, B, Cの判定基準で評価を行った。※未提出：1名
A 気候に対応する生活の工夫や産業の特徴、気候に関する問いを複数記述している。【6名】
B 気候に対応する生活の工夫や産業の特徴、気候に関する問いを記述することができている。【13名】
C Bに達していない。【7名】
【抽出児の記述】

【考察】
全体の約75%の児童が、学習内容に関する問いを1つは記述することができた。しかし、M児のように、評価Bに達していない児童が7名いたことから、調べていきたいことを考える段階までの、資料の提示・声掛け等が適切ではなかったと考える。学習内容に興味をもたせるために佐賀県との比較（今回は気温と雨量のグラフ）を提示したが、よりねらいに迫る資料提示の工夫が必要である。また、ねらいに沿った児童の発言を全体に広げていきたい。

6 月～7 月の実践を終え、チェックリストで 1 学期の実践を振り返りました。

Q 3
次の項目に幾つ当てはまりますか。

☒ 学習問題を解決するために、何を調べるとよいのか見通しをもたせている。
☒ 学習問題を解決するために、どんな方法で調べるとよいのか見通しをもたせている。
☒ 学習問題の答えを予想させている。

A : 3つ当てはまる。 ➡ Q 4 へ Click

A : 0 又は 1 つ～2 つ当てはまる。 Click

Q 4
次の項目に幾つ当てはまりますか。

☒ 調べたことを明らかにして、調べ学習ができるようにしている。
☒ 調べたことを、ペアやグループ、学級全体で共有するようにしている。
☒ 調べたことをもとに、考えることができるようにしている。
☒ 考えたことを、ペアやグループ、学級全体で交流するようにしている。

A : 4つ当てはまる。 ➡ Q 5 へ Click

A : 2 つ～3 つ当てはまる。 Click

A : 0 又は 1 つ～2 つ当てはまる。 Click

Q 5
次の項目に幾つ当てはまりますか。

☐ 単元を通して、学習問題について分かったことをまとめるようにしている。
☐ 学習問題について分かったことを、ペアやグループ、学級全体で交流するようにしている。
☐ 学習問題についてまとめたことを基に、新たな問題に気付くことができるようにしている。

A : 3つ当てはまる。 Click

A : 0 又は 1 つ～2 つ当てはまる。 Click

指示された「手引き」のページ

学習領域	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
観点	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
知識			(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。□⇒C①②③④⑤ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。□⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺ (3) 個別の具体的な知識に関する内容を総合して（まとめて）、記述することができる。□⇒C①②③④⑤⇒D①⑧⑨⑩⇒E①②③④			
技能 (収集する 読み取る まとめる)			(1) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために必要な資料を集めることができる。□⇒C①②③ (2) その資料がどのような資料分かっている。□⇒C⑥⑦⑧ (3) 事実を正確に読み取っている。□⇒C④⑤⑥⑦⑧ (4) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために有用な情報を選んで読み取っている。□⇒B①⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。□⇒C⑥⑦⑧⑨⑩			
思考・ 判断・ 表現	(1) 資料を基に気付くをもつことができる。□ ⇒A①② (2) 資料を基に疑問をもつことができる。□ ⇒A①②③ (3) 疑問に対して、予想をすることがある。□ ⇒A⑤⑥ (4) 気付きや疑問から、キーワード（問い）をつくることができる。□ ⇒A④⑤⑥⑦ (5) キーワード（問い）を関連付けて、大きな問いをつくることができる。□ ⇒A④⑦⑧⑨	(1) 学習問題に対して、予想をすることができる。□ ⇒B① (2) 自分が調べたいことを考えることができる。□ ⇒B①② (3) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。□ ⇒B①②③	(1) 本時で分かったことを基に、学習問題の解決のために次から何を調べるとよいか考えることができる。□ ⇒C①②③④⑤	(1) 調べた事実を基に、考えられることを導き出すことができる。□ ⇒C⑧⇒D①②③ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。□ ⇒D②③④⑤ (3) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えることができる。□ ⇒D④⑤⑥⑦ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。□ ⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) これまでに学習してきたことを基に、自分の考えをもつことができる。□ ⇒E①②③④ (2) 友達や先生の考えと比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。□ ⇒E①②③④	(1) 学習した内容から似た事実や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。□ ⇒F④ (2) 新たに調べたいことを考えることができる。□ ⇒F①②③
主体的に学習に取り組み 態度	(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しをもっている。□⇒B①②③⇒C①②③ (2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているのか理解している。□⇒B①②③⇒C①②③④ (3) 社会的な事象について、実感や切実感をもって調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。□⇒A①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ (4) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。□A①⇒F①②③④					

【実践 2】 9 月実践

学習過程 観点	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
知識	(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。☑⇒C①②③④⑤ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。☑⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⇒D①⑩⑪ (3) 個別の具体的な知識に関する内容を総合して（まとめて）、記述することができる。☐⇒C①②③④⑤⇒D①⑧⑨⑩⑪⇒E①②③④					
技能 (収集する 読み取る まとめる)	(1) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために必要な資料を集めることができる。☑⇒C①②③ (2) その資料がどのような資料に分かっている。☐⇒C⑥⑦⑧ (3) 事実を正確に読み取っている。☐⇒C④⑤⑥⑦⑧ (4) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために有用な情報を選んで読み取っている。☐⇒B①⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。☐⇒C⑥⑦⑧⑨⑩					
思考・ 判断・ 表現	(1) 資料を基に気付きをもつことができる。☑ ⇒A①② (2) 資料を基に疑問をもつことができる。☑ ⇒A①②③ (3) 疑問に対して、予想を考えることができる。☑ ⇒A⑤⑥ (4) 気付きや疑問から、キーワード（問い）をつくることができる。☑ ⇒A④⑤⑥⑦ (5) キーワード（問い）を関連付けて、大きな問いをつくることができる。☐ ⇒A④⑦⑧⑨	(1) 学習問題に対して、予想を考えることができる。☐ ⇒B① (2) 自分が調べたいことを考えることができる。☐ ⇒B①② (3) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。☐ ⇒B①②③	(1) 本時で分かったことを基に、学習問題の解決のために次から何を調べるとよいか考えることができる。☐ ⇒C①②③⑩⑪ (2) 調べた事実を基に、考えられることを導き出すことができる。☑ ⇒C⑩⇒D①②③ (3) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。☐ ⇒D②③④⑤ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考察することができる。☐ ⇒D④⑤⑥⑦ (5) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考察した上で、一番重視したい立場を選択することができる。☐ ⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) これまでに学習してきたことを基に、自分の考えをもつことができる。☐ ⇒E①②③④ (2) 友達のことを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。☐ ⇒E①②③④	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。☐ ⇒F④ (2) 新たに調べたいことを考えることができる。☐ ⇒F①②③	
主体的に学習に取り組む態度	(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しをもっている。☐⇒B①②③⇒C①②③ (2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているのか理解している。☐⇒B①②③⇒C①②③⑩ (3) 社会的事象について、実感や切実感をもって調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。☐⇒A①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ (4) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。☐A①⇒F①②③④					

✓ …できていると判断した児童の姿

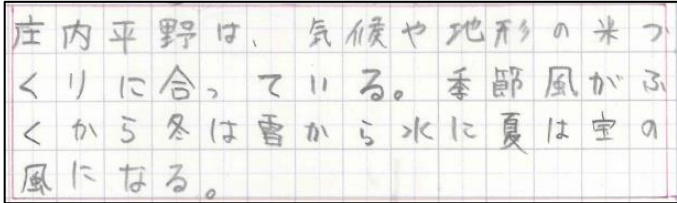
□ …今月実践の単元で目指す児童の姿

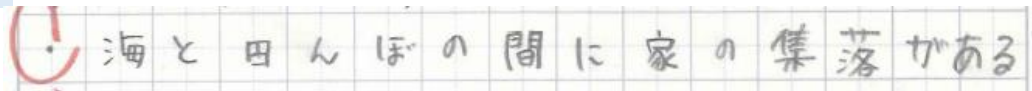
学習過程 観点	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
手立て	A①身近なことを題材に挙げる。□ A②資料提示の工夫（資料の一部を隠すなど）を行う。□ A③題材に対して気付きや疑問をもたせる。□ A④気付きや疑問を教師が意識的に仲間（キーワード）分けして板書する。✓ A⑤気付きや疑問に対して、問い返しをしながら、児童に予想を出させる。□ A⑥自分の考えをもちやすい場面（予想など）で、自分と相手の意見が同じか違うか考えさせながら対話させる。✓ A⑦気付きや疑問を基に、調べたいことを考えさせる。✓ A⑧調べていきたいことを学習問題として書かせる。□ A⑨個別にもった学習問題を全体で交流し、学習問題を設定する。□	B①学習問題の解決のために何を調べるとよいかを考えさせる。□ B②調べるとよいか考えたことをグループで話し、何から調べたらよいか考えさせる。□ B③学習問題の解決のために何を調べるとよいか調べる方法を考えさせる。□	C①学習問題を確認する。□ C②調べることを回や表に表し、単元全体を見通すことができるようにする。□ C③学習問題と学習計画を教室内に掲示し、常に振り返らせる。□ C④調べる内容（視点）を確認する。□ C⑤調べる内容について、予想をさせる。□ C⑥資料（写真、教科書等の文章等）を一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。□ C⑦教師が指示した資料で調べさせる。□ C⑧立場ごとに、資料を分けて提示する。□ C⑨様々な資料を見せ、読み取りの視点を増やす。□ C⑩学習問題や学習課題（本時のめあて）の解決に必要な情報であるのか考えさせる。□ C⑪調べた内容をペアやグループで伝え合わせ、確認させる。□ C⑫調べた内容について、問い返して、事実を相互に関連付けて考えさせる。□ C⑬学習問題について、学習課題（本時のめあて）とのつながりを考えて記述させる。□	D①事実を調べた後に、意味を問う疑問を段階的に行う。□ D②調べた事実と考えを明確に分けさせる。□ D③整理となる資料を確認する。□ D④話し合いの目的・ゴールを示す。□ D⑤考えをペアやグループで伝え合わせる。□ D⑥視点を基に、考えをもたせる。□ D⑦視点同士を比較させ、考えをもたせる。□ D⑧まとめ方を例示する。□ D⑨キーワードを挙げる。□ D⑩まとめ方に関する判定基準を示す。□ D⑪指示物を活用し、これまでの学習を振り返らせる。□	E①単元全体のまとめ方を例示する。□ E②キーワードを挙げる。□ E③単元全体のまとめ方に関する判定基準を示す。□ E④ノートやワークシート、指示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。□	F①新たな学習問題を提示する。□ F②社会的問題を含んだ資料を提示し、学習問題を設定する。□ F③ゲストティーチャーに新たな学習問題につながる情報を話してもらふ。□ F④学んだことと自分たちの生活（自分にできること）をつなげて考えさせる。□

✓ …現在取り入れていると判断した手立て

○ …今月実践の単元で取り入れることを決定した手立て

単元「米づくりのさかなな地域」

目指す姿（知識）	
個別の具体的な知識に関する内容を総合して（まとめて）、記述することができる。	
取り入れた手立て（手引きの記号、番号）	
事実を調べさせた後に、意味を問う発問を段階的に行う。（D①）	
↓	
児童のワークシートの記述を基に、以下のB、Cの判定基準で評価を行った。※2名未提出 （※指導に生かすための形成的な評価をしている。また児童のつぶやきや発言などから、「十分満足できる」状況（A）と判断できた児童に関しては、記録に残し、単元における総括の評価の参考とする。） B 本時のキーワードとなる言葉を記述している。【0名】 C Bに達していない。【24名】	
【抽出児の記述】	
【考察】	毎時間の最後に、学習問題の答えを書かせたが、ほとんどの児童がM児のように、個別の具体的な知識のみを記述しており、調べたことや考えたことを総合して考えることは難しかった。今後は、学習問題の答えを記述させる際は、つなげて（関連付けて）書くことを意識させるようにしたい。

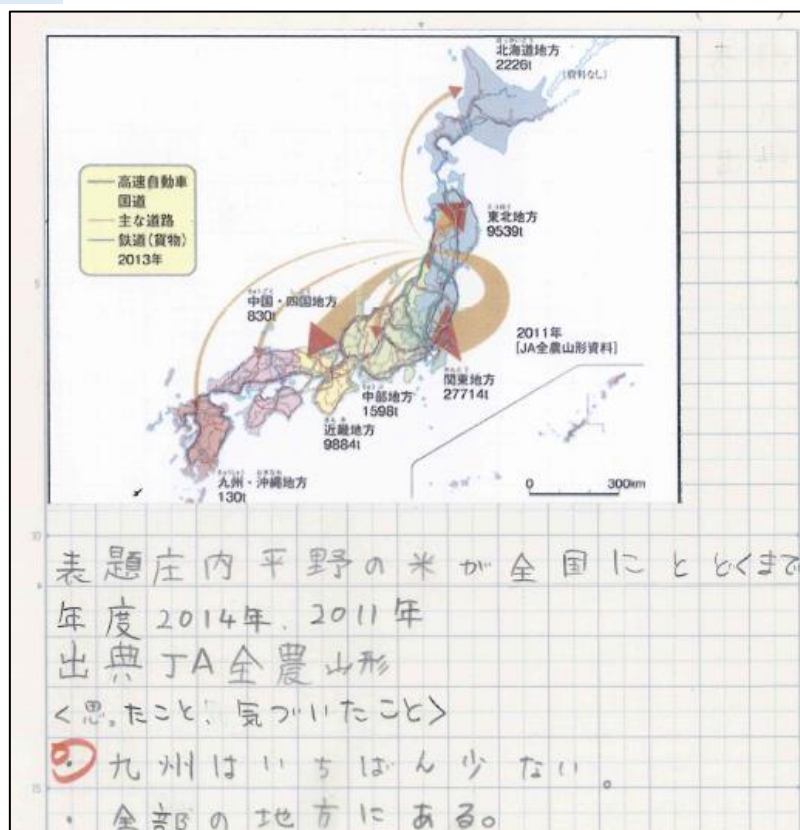
目指す姿（技能）	
その資料がどのような資料か分かっている。	
取り入れた手立て（手引きの記号、番号）	
資料（写真、教科書等の文章等）を一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。（C⑥）	
↓	
児童のワークシートの記述を基に、以下のA、B、Cの判定基準で評価を行った。※2名未提出 A 言葉の意味（降水量、平均気温など）を踏まえた上で、何が書かれている資料か分かっている。【18名】 B 何が書かれている資料か分かっている。（庄内平野の米が全国に届くまで、など）【6名】 C 断片的に資料を読み取っている。（重さを表していることや、大体の数値など）【0名】	
【抽出児の記述】	
【考察】	M児のように、24名中18名の児童が写真資料を基に米作りに関わる内容（海が近くにある、海の近くには田がなくビニールハウスがたくさんある、防砂林・木がある、など）を記述することができて

いた。田がないということは、ほとんどの児童が読み取ることができていた。写真の一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる手立ては効果的であったと考える。

児童のワークシートの記述を基に、以下の A, B, C の判定基準で評価を行った。

- A 言葉の意味を踏まえた上で、何が書かれている資料か分かっている。【20 名】
 B 何が書かれている資料か分かる。【5 名】
 C 断片的に資料を読み取ることができる。【1 名】

【抽出児の記述】



【考察】

地図資料からは、表題をほぼ全員が記述することができ、資料から分かることを記述している児童は 20 名いた。資料（地図、教科書等の文章等）の一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる手立ては効果的であったと考える。しかし一方で、M児のように、資料が表す言葉の意味を踏まえて読み取ったことを記述することができていない児童も 5 名いた。今後も、C⑥の手立てを継続して取り入れていく。

目指す姿（思考・判断・表現）

資料を使って意見を述べたり，記述したりすることができる。

取り入れた手立て（手引きの記号，番号）

根拠となる資料を確認する。（D③）



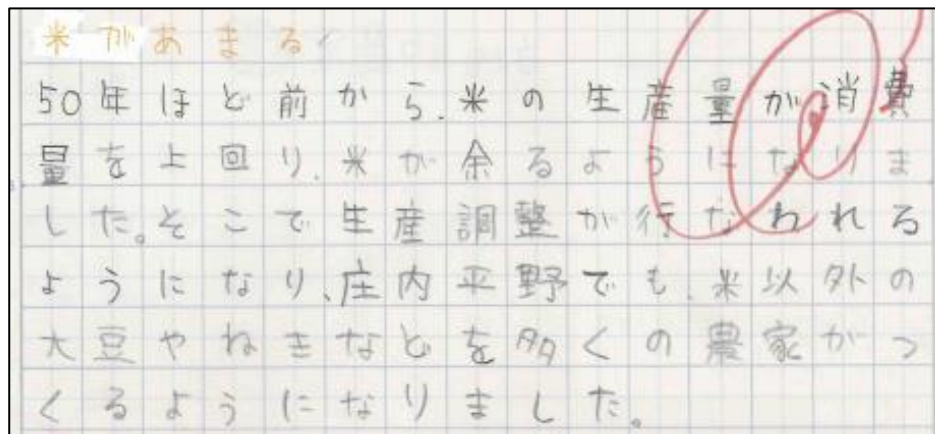
児童のワークシートの記述を基に、以下の A, B, C の判定基準で評価を行った。※未提出：2 名

A 資料を具体的に示して自分の意見を述べたり、記述したりしている。【0 名】

B 資料を根拠として自分の意見を述べたり、記述したりしている。【21 名】

C B に達していない。【3 名】

【抽出児の記述】



【考察】

教科書や資料集などの資料を活用して、自分の意見を記述することができていた児童は 24 名中 21 名と大変多かった。しかし資料名等を明確に示して記述することができた児童はいなかった。M 児の記述を読むと、資料から分かることを正確に読み取ることはできているが、読み取ったことを基に自分の考えを記述するところまでには至っていない。今後は、D③の手立てに加えて、以下のことを取り入れていく。

資料を示す必然性をもたせる。(☆手引きに掲載していない手立て)

必ず考えの根拠を示して発表させるようにする(話型の提示)。(☆手引きに掲載していない手立て)

目指す姿(主体的に学習に取り組む態度)

調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。

取り入れた手立て(手引きの記号、番号)

学んだことを自分たちの生活(自分にできること)とをつなげて考えさせる。(F④)



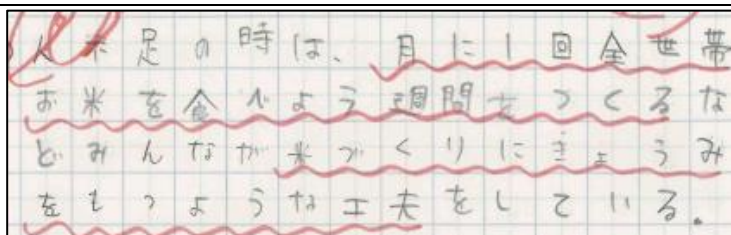
児童のワークシートの記述を基に、以下の B, C の判定基準で評価を行った。※未提出：1 名

(※指導に生かすための形成的な評価をしている。また児童のつぶやきや発言などから、「十分満足できる」状況(A)と判断できた児童に関しては、記録に残し、単元における総括の評価の参考とする。)

B 学習内容を基に、これからの社会全体としてどのようなことができそうか記述している。【17 名】

C B に達していない。【8 名】

【抽出児の記述】



【考察】

全体の約 7 割の児童が、M 児のように、これからの社会全体としてどのようなことができそうか記述することができていた。今後も、社会的事象を児童にとって身近なものに感じさせる手立てと問題に対して何ができそうか考える機会をつくっていく。

【実践 3】10 月実践

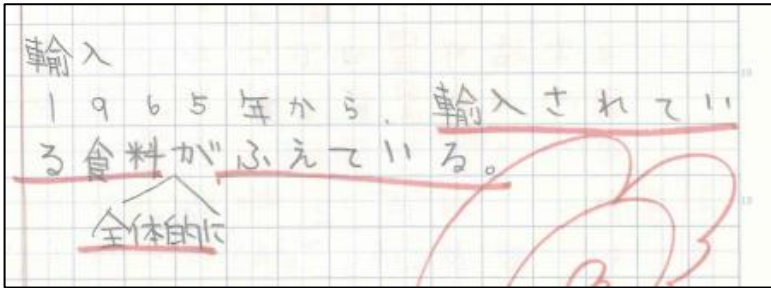
学習過程 観点	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
知識			(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。☑⇒C①②③④⑤ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。☑⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⇒D①⑩⑪ (3) 個別の具体的な知識に関する内容を総合して（まとめて）、記述することができる。☑⇒C①②③④⑤⇒D①⑧⑨⑩⑪⇒E①②③④			
技能 (収集する 読み取る まとめる)			(1) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために必要な資料を集めることができる。☑⇒C①②③ (2) その資料がどのような資料に分かっている。☑⇒C⑥⑦⑧ (3) 事実を正確に読み取っている。☑⇒C④⑤⑥⑦⑧ (4) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために有用な情報を選んで読み取っている。☑⇒B①⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。☑⇒C⑥⑦⑧⑨⑩⑪			
思考・ 判断・ 表現	(1) 資料を基に気付きをもつことができる。☑⇒A①② (2) 資料を基に疑問をもつことができる。☑⇒A①②③ (3) 疑問に対して、予想をすることがある。☑⇒A⑤⑥ (4) 気付きや疑問から、キーワード（問い）をつくることできる。☑⇒A④⑤⑥⑦ (5) キーワード（問い）を関連付けて、大きな問いをつくることできる。☑⇒A④⑦⑧⑨	(1) 学習問題に対して、予想をすることがある。☑⇒B① (2) 自分が調べたいことを考えることができる。☑⇒B①② (3) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。☑⇒B①②③	(1) 本時で分かったことを基に、学習問題の解決のために次から何を調べるとよいか考えることができる。☑⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。☑⇒D②③④⑤ (3) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えることができる。☑⇒D④⑤⑥⑦ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。☑⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) 調べた事実を基に、考えられることを導き出すことができる。☑⇒D①②③ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。☑⇒D②③④⑤ (3) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えることができる。☑⇒D④⑤⑥⑦ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。☑⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) これまでに学習してきたことを基に、自分の考えをもつことができる。☑⇒E①②③④ (2) 友達のことを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。☑⇒E①②③④	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。☑⇒F④ (2) 新たに調べたいことを考えることができる。☑⇒F①②③
主体的に学習に取り組む態度	(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しをもっている。☑⇒B①②③⇒C①②③④ (2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているのか理解している。☑⇒B①②③⇒C①②③④ (3) 社会的な事象について、実感や切実感をもって調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。☑⇒A①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ (4) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。☑⇒A①⇒F①②③④					

- ☑ …できていると判断した児童の姿
- ☐ …今月実践の単元で目指す児童の姿

学習過程 観点	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
手立て	A①身近なことを題材に挙げる。☐ A②資料提示の工夫（資料の一部を隠すなど）を行う。☐ A③題材に対して気付きや疑問をもたせる。☐ A④気付きや疑問を教師が意識的に仲間（キーワード）分けして板書する。☑ A⑤気付きや疑問に対して、問い返しをしながら児童に予想を出させる。☑ A⑥自分の考えをもちやすい場面（予想など）で、自分と相手の意見が同じか違つか考えさせながら対話させる。☑ A⑦気付きや疑問を基に、調べていきたいことを考えさせる。☑ A⑧調べていきたいことを学習問題として書かせる。☐ A⑨個別にもった学習問題を全体で交流し、学習問題を設定する。☐	B①学習問題の解決のために何を調べるとよいかを考えさせる。☐ B②調べるとよいか考えたことをグループにし、何から調べたらよいか考えさせる。☐ B③学習問題の解決のために何を調べるとよいか調べる方法を考えさせる。☐	C①学習問題を確認する。☐ C②調べることを図や表に表し、単元全体を見通すことができるようになる。☐ C③学習問題と学習計画を教室内に掲示し、常に振り返らせる。☐ C④調べる内容（視点）を確認する。☐ C⑤調べる内容について、予想をさせる。☐ C⑥資料（写真、教科書等の文章等）を一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。☑ C⑦教師が指示した資料で調べさせる。☐ C⑧立場ごとに、資料を分けて提示する。☐ C⑨様々な資料を見せ、読み取りの視点を増やす。☐ C⑩学習問題や学習課題（本時のめあて）の解決に必要な情報であるのか考えさせる。☐ C⑪調べた内容をペアやグループで伝え合わせ、確認させる。☐ C⑫調べた内容について、問い返して、事実を相互に関連付けて考えさせる。☐ C⑬学習問題について、学習課題（本時のめあて）とのつながりを考えて記述させる。☐	D①事実を調べた後に、意味を問う疑問を段階的に出す。☐ D②調べた事実と考察を明確に分けさせる。☐ D③根拠となる資料を確認する。☐ D④話し合いの目的・ゴールを示す。☐ D⑤考えをペアやグループで伝え合わせる。☐ D⑥視点を基に、考えをもたせる。☐ D⑦視点同士を比較させ、考えをもたせる。☐ D⑧まとめ方を例示する。☐ D⑨キーワードを挙げる。☐ D⑩まとめ方に関する判定基準を示す。☐ D⑪掲示物を活用し、これまでの学習を振り返らせる。☐	E①単元全体のまとめ方を例示する。☐ E②キーワードを挙げる。☐ E③単元全体のまとめ方に関する判定基準を示す。☐ E④ノートやワークシート、掲示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。☐	F①新たな学習問題を提示する。☐ F②社会的問題を含んだ資料を提示し、学習問題を設定する。☐ F③ゲストティーチャーに新たな学習問題につながる情報を話してもらふ。☐ F④学んだことと自分たちの生活（自分にできること）とをつなげて考えさせる。☑

- ☑ …現在取り入れていると判断した手立て
- ☐ …今月実践の単元で取り入れることを決定した手立て

単元「これからの食料生産とわたしたち」

目指す姿（技能）
学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために有用な情報を選んで読み取っている。
取り入れた手立て（手引きの記号、番号）
教師が指示した資料で調べさせる。（C⑦） 立場ごとに、資料を分けて提示する。（C⑧）
↓
児童のワークシートの記述を基に、以下のA，B，Cの判定基準で評価を行った。
A 1つの資料から、有用な複数の情報を読み取っている。【23名】 B 1つの資料から、複数の情報を読み取っている。【2名】 C Bに達していない。【1名】
【抽出児の記述】

【考察】
食料品の輸入について、メリット・デメリットを教科書から探させた。26名中25名が、M児のように有用な情報を読み取ることができていた。教師が、立場ごとに資料を分けて提示したことで、児童が目的をもって読み取りを行うことができたと考える。ただ、今回は教科書の本文から情報を読み取る学習だったので、グラフなどの資料に比べると比較的読み取りが行いやすかったと考える。今後もC⑦とC⑧の手立てを継続して取り入れていきたい。

目指す姿（知識）
個別の具体的な知識に関する内容を総合して（まとめて）、記述することができる。
取り入れた手立て（手引きの記号、番号）
事実を調べた後に、意味を問う発問を段階的に行う。（D①） キーワードを挙げる。（D⑨） まとめ方に関する判定基準を示す。（D⑩）
↓
児童のワークシートの記述を基に、以下のB，Cの判定基準で評価を行った。※未提出：1名 （※指導に生かすための形成的な評価をしている。また児童のつぶやきや発言などから、「十分満足できる」状況（A）と判断できた児童に関しては、記録に残し、単元における総括の評価の参考とする。）
B 本時のキーワードとなる言葉を記述している。【20名】 C Bに達していない。【5名】

【抽出児の記述】

輸入された食料が増える一方で、国内の農業生産
や漁業が減り、食料自給率が低くなっている。

【考察】

9月実践に比べ、個別の具体的な知識に関する内容をまとめて、記述することができた児童が増えた。M児の記述を読むと、キーワード「輸入」「食料自給率」を使って、調べた事実をまとめて記述することができていることが分かる。D⑨の手立て「キーワードを挙げる」によって、知識をまとめる考え方を促し、D⑩の手立て「まとめ方に関する判定基準を示す」によって、ゴールの姿がイメージしやすくなったと考える。

目指す姿（思考・判断・表現）

資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。

取り入れた手立て（手引きの記号、番号）

根拠となる資料を確認する。（D③）

資料を示す必然性をもたせる。（☆手引きに掲載していない手立て）

必ず考えの根拠を示して発表させるようにする（話型の提示）。（☆手引きに掲載していない手立て）



児童のワークシートの記述を基に、以下のA、B、Cの判定基準で評価を行った。※未提出：5名

A 資料を具体的に示して自分の意見を述べたり、記述したりしている。【6名】

B 資料を根拠として自分の意見を述べたり、記述したりしている。【13名】

C Bに達していない。【2名】

【抽出児の記述】

わたしは、りょうほういとお
もいます。
理由は、2つあります。
1つ目は、輸入をしていたら、
お金はかかるけど、いろいろな
ものをとべれるからです。
2つ目は、今は、輸入していろ
けど輸入しなくなると、たときに、
自給率を上げていけると、やくに
立つからです。（いろいろなもの
種類が多い）

【考察】

9月実践に比べ、資料を具体的に示して自分の意見を述べたり、記述したりすることができた児童が増えた。考えを記述させるときだけでなく、調べる学習活動を行っているときや、考えをペアやグループで伝え合わせるときにも、D③の手立て「根拠となる資料を確認する」を継続して取り入れていたことが効果的であったと考える。M児の記述を読むと、資料を具体的に示すことはできてはいないが、資

料を根拠として自分の意見を記述することができていることが分かる。今後も、学習過程のいずれの場面においても、D③の手立てを取り入れ、児童が資料を根拠にすることを意識できるようにしたい。さらに、資料を示す必然性をもたせたり、話型を提示して必ず考えの根拠を示して発表させたりしていきたい。

【実践 4】11 月実践

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
知識	(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。☑⇒C①②③④⑤ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。☑⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⇒D①⑧⑨⑩⑪ (3) 個別の具体的な知識に関する内容を総合して（まとめて）、記述することができる。☐⇒C①②③④⑤⇒D①⑧⑨⑩⑪⇒E①②③④					
技能 (収集する 読み取る まとめる)	(1) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために必要な資料を集めることができる。☑⇒C①②③ (2) その資料がどのような資料に分かっている。☐⇒C⑥⑦⑧ (3) 事実を正確に読み取っている。☐⇒C④⑤⑥⑦⑧ (4) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために有用な情報を選んで読み取っている。☐⇒B①⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。☐⇒C⑥⑦⑧⑨⑩					
思考・ 判断・ 表現	(1) 資料を基に気付きをもつことができる。☑ ⇒A①② (2) 資料を基に疑問をもつことができる。☑ ⇒A①②③ (3) 疑問に対して、予想を考えることができる。☑ ⇒A⑤⑥ (4) 気付きや疑問から、キーワード（問い）をつくることができる。☑ ⇒A④⑤⑥⑦ (5) キーワード（問い）を関連付けて、大きな問いをつくることができる。☐ ⇒A④⑦⑧⑨	(1) 学習問題に対して、予想を考えることができる。☐ ⇒B① (2) 自分が調べたいことを考えることができる。☐ ⇒B①② (3) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。☐ ⇒B①②③	(1) 本時で分かったことを基に、学習問題の解決のために次から何を調べるとよいか考えることができる。☐ ⇒C①②③④⑤ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。☐ ⇒D②③④⑤ (3) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えることができる。☐ ⇒D④⑤⑥⑦ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。☐ ⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) これまでに学習してきたことを基に、自分の考えをもつことができる。☐ ⇒E①②③④ (2) 友達のを考えを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。☐ ⇒E①②③④	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。☐ ⇒F④ (2) 新たに調べたいことを考えることができる。☐ ⇒F①②③	
主体的に学習に取り組む態度	(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しをもっている。☐⇒B①②③⇒C①②③ (2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているのか理解している。☐⇒B①②③⇒C①②③④ (3) 社会的事象について、実感や切実感をもって調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。☐⇒A①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ (4) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。☑A①⇒F①②③④					

✓ …できていると判断した児童の姿

□ …今月実践の単元で目指す児童の姿

学習過程	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り送り
手立て	A①身近なことを題材に挙げる。□ A②資料提示の工夫（資料の一部を隠すなど）を行う。□ A③題材に対して気付きや疑問をもたせる。□ A④気付きや疑問を教師が意識的に仲間（キーワード）分けして板書する。✓ A⑤気付きや疑問に対して、問い返しをしながら、児童に予想を出させる。✓ A⑥自分の考えをもちやすい場面（予想など）で、自分と相手の意見が同じか違うか考えさせながら対話させる。✓ A⑦気付きや疑問を基に、調べていきたいことを考えさせる。✓ A⑧調べていきたいことを学習問題として書かせる。□ A⑨個別にもった学習問題を全体で交流し、学習問題を設定する。□	B①学習問題の解決のために何を調べるとよいかを考えさせる。□ B②調べるとよいか考えたことをグループにし、何から調べたらよいか考えさせる。□ B③学習問題の解決のために何を調べるとよいか調べる方法を考えさせる。□	C①学習問題を確認する。□ C②調べたことを図や表に表し、単元全体を見通すことができるようにする。□ C③学習問題と学習計画を教室内に掲示し、常に振り返らせる。□ C④調べる内容（視点）を確認する。□ C⑤調べる内容について、予想をさせる。□ C⑥資料（写真、教科書等の文章等）をつづつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。□ C⑦教師が指示した資料で調べさせる。□ C⑧立場ごとに、資料を分けて提示する。□ C⑨様々な資料を見せ、読み取りの視点を増やす。□ C⑩学習問題や学習課題（本時のめあて）の解決に必要な情報であるのか考えさせる。□ C⑪調べた内容をペアやグループで伝え合わせ、確認させる。□ C⑫調べた内容について、問い返して、事実を相互に関連付けて考えさせる。□ C⑬学習問題について、学習課題（本時のめあて）とのつながりを考えて記述させる。□	D①事実を調べた後に、意味を問う疑問を段階的に行う。□ D②調べた事実と考えを明確に分けさせる。□ D③根拠となる資料を確認する。□ D④話し合いの目的・ゴールを示す。□ D⑤考えをペアやグループで伝え合わせる。□ D⑥視点を基に、考えをもたせる。□ D⑦視点同士を比較させ、考えをもたせる。□ D⑧まとめ方を例示する。□ D⑨キーワードを挙げる。□ D⑩まとめに関する判定基準を示す。□ D⑪提示物を活用し、これまでの学習を振り返らせる。□	E①単元全体のまとめ方を例示する。□ E②キーワードを挙げる。□ E③単元全体のまとめ方に関する判定基準を示す。□ E④ノートやワークシート、掲示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。□	F①新たな学習問題を提示する。□ F②社会的問題を含んだ資料を提示し、学習問題を設定する。□ F③ゲストティーチャーに新たな学習問題につながる情報を話してもらう。□ F④学んだことと自分たちの生活（自分にできること）をつなげて考えさせる。✓

✓ …現在取り入れていると判断した手立て

○ …今月実践の単元で取り入れることを決定した手立て

単元「自動車をつくる工業」

目指す姿（知識）
個別の具体的な知識に関する内容を総合して（まとめて）、記述することができる。
取り入れた手立て（手引きの記号、番号）
事実を調べた後に、意味を問う発問を段階的に行う。（D①） キーワードを挙げる。（D⑨） まとめ方に関する判定基準を示す。（D⑩）

児童のワークシートの記述を基に、以下のB、Cの判定基準で評価を行った。 （※指導に生かすための形成的な評価をしている。また児童のつぶやきや発言などから、「十分満足できる」状況（A）と判断できた児童に関しては、記録に残し、単元における総括の評価の参考とする。） B キーワードとなる言葉を基に、これまでの学習内容をまとめて記述している。【9名】 C Bに達していない。【15名】
【抽出児の記述】 自動車工場で作られて、船で海外へ輸送される。
【考察】 本単元の学習問題である「日本の自動車はどのようにしてつくられ、どのようにして世界中に運ばれているのか」についてまとめさせた。自動車をつくる段階でのよりよい自動車を効率よくつくる工夫があること、世界への輸送について、両方とも記述している児童が9名であった。ただ、M児のようにキーワードとなる言葉を取り入れてはいるが、内容として不十分な記述をしている児童が多かった。一単位時間ごとの振り返りやまとめをさせる際は、キーワードを使って書いている児童が多かったが、単元のまとめとなる本時ではこれまでの学習で得た知識を関連付けて書くことが難しかったようである。まずは、一単位時間ごとや単元ごとに個別の具体的な知識を関連付けて（つなげて）考えることができるような手立てを取り入れていく必要がある。

目指す姿（技能）
学習問題や本時のめあてを解決するために有用な情報を選んで読み取っている。
取り入れた手立て（手引きの記号、番号）
教師が指示した資料で調べさせる。（C⑦） 立場ごとに、資料を分けて提示する。（C⑧）

児童のワークシートの記述を基に、以下のA、B、Cの判定基準で評価を行った。※未提出：6名 A 一つの資料から、複数の有用な情報を読み取っている。【4名】 B 一つの資料から、有用な情報を読み取っている。【11名】 C Bに達していない。【2名】
【抽出児の記述】 安くできるから。

【考察】

10 月実践に比べると、学習問題や本時のめあてを解決するために有用な情報を選んで読み取っていた児童の割合が減った。今回の単元では、資料として教科書に加え動画も提示したため、動画の内容を読み取って記述することが難しかったのではないかと考える。**C⑦**と**C⑧**の手立てを継続して取り入れていくとともに、動画資料の読み取りも併せて指導していく必要がある。

目指す姿（技能）

その資料がどのような資料か分かっている。

取り入れた手立て（手引きの記号、番号）

資料（写真、教科書等の文章等）を一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。
(**C⑥**)



児童のワークシートの記述を基に、以下の A, B, C の判定基準で評価を行った。※未提出：2 名

A 何が書かれている資料か分かり、自動車の普及率の意味を踏まえた上で、資料から分かることを記述している。【12 名】

B 何が書かれている資料か分かり、資料から分かることを記述している。【4 名】

C B に達していない。【5 名】

【抽出児の記述】

記録なし

【考察】

9 月実践の地図資料の読み取りでは、表題をほぼ全員が記述することができ、資料から分かることを記述している児童は 20 名いた。しかし、今回のグラフ資料の読み取りでは、グラフが示すことの意味を踏まえて記述した児童が減少した。また、評価 B に達していない児童が 9 月実践同様 5 名いた。今後も、**C⑥**の手立てを継続して取り入れていく。

目指す姿（思考・判断・表現）

資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。

取り入れた手立て（手引きの記号、番号）

調べた事実と考えを明確に分けさせる。(D②)

根拠となる資料を確認する。(D③)

話合いの目的・ゴールを示す。(D④)

考えをペアやグループで伝え合わせる。(D⑤)

視点を基に、考えをもたせる。(D⑥)



児童のワークシートの記述を基に、以下の A, B, C の判定基準で評価を行った。※未提出：2 名

A 今後の日本の自動車づくりについて、話合いの内容を踏まえ「早さ」「費用」「仕事」「外国との関係」等の視点の中から複数の視点で自分の考えを記述している。【16 名】

B 今後の日本の自動車づくりについて、話合いの内容を踏まえ「早さ」「費用」「仕事」「外国との関

係」等の視点の中から一つの視点で自分の考えを記述している。【4名】

C Bに達していない。【1名】

【抽出児の記述】

自分の考え
わたしは、これからの日本の自動車づくりは、現地生産を優先すればいいと思います。理由は、一つあります。
一つ目は、技術を外国にまねされても、もし日本にえいきょうが出たら、外国でつukれないかもしれ
ないから、私は、現地生産を優先した方がいいと思いました。

【考察】

話合いの内容を踏まえて自分の考えを記述する際に、話合いの視点を確認したことで、10月実践に比べると、視点を基に自分の考えを記述している児童が増えた。M児の記述を読むと、話合い活動で出てきた視点「技術」を基に自分の考えを記述していることが分かる。ただし、視点を基にして複数の意見を比較すること（例：「外国との関係」という点で考えると、現地生産の方がよい）ができている児童がほとんどいなかった。視点を基に話合いを深める手立てを今後も継続して取り入れていく。

【実践 5】12 月実践

学習過程 観点	課題把握		課題追究		課題解決		新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り	
知識	(1) 個別の具体的な知識に関する内容を記述することができる。□⇒C①②③④⑤ (2) 個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。□⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⇒D①⑩⑪ (3) 個別の具体的な知識に関する内容を総合して（まとめて）、記述することができる。□⇒C①②③④⑤⇒D①⑧⑨⑩⑪⇒E①②③④						
技能 (収集する 読み取る まとめる)	(1) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために必要な資料を集めることができる。□⇒C①②③ (2) その資料がどのような資料分かっている。□⇒C⑥⑦⑧ (3) 事実を正確に読み取っている。□⇒C④⑤⑥⑦⑧ (4) 学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために有用な情報を選んで読み取っている。□⇒B①⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ (5) 目的や自分の意図に基づいてまとめることができる。□⇒C⑥⑦⑧⑨⑩						
思考・ 判断・ 表現	(1) 資料を基に気付きをもつことができる。□⇒A①② (2) 資料を基に疑問をもつことができる。□⇒A①②③ (3) 疑問に対して、予想を考えることができる。□⇒A⑤⑥ (4) 気付きや疑問から、キーワード（問い）をつくることができる。□⇒A④⑤⑥⑦ (5) キーワード（問い）を関連付けて、大きな問いをつくることができる。□⇒A④⑦⑧⑨	(1) 学習問題に対して、予想を考えることができる。□⇒B① (2) 自分が調べたいことを考えることができる。□⇒B①② (3) 学習問題を解決するために、何をどのような方法で調べるとよいか、具体的に考えることができる。□⇒B①②③	(1) 本時で分かったことを基に、学習問題の解決のために次から何を調べるとよいか考えることができる。□⇒C①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪ (2) 調べた事実を基に、考えられることを導き出すことができる。□⇒C⑩⇒D①②③ (3) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。□⇒D②③④⑤ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考慮することができる。□⇒D④⑤⑥⑦ (5) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。□⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) 調べた事実を基に、考えられることを導き出すことができる。□⇒C⑩⇒D①②③ (2) 資料を使って意見を述べたり、記述したりすることができる。□⇒D②③④⑤ (3) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考慮することができる。□⇒D④⑤⑥⑦ (4) 様々な立場や視点ごとに、メリット・デメリットを考えた上で、一番重視したい立場を選択することができる。□⇒D④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪	(1) これまでに学習してきたことを基に、自分の考えをもつことができる。□⇒E①②③④ (2) 友達のことを比較・関連付け、意見を述べたり、記述したりすることができる。□⇒E①②③④	(1) 学習した内容から似た事象や当てはまりそうな事象がないか考えることができる。□⇒F④ (2) 新たに調べたいことを考えることができる。□⇒F①②③	
主体的に学習に取り組む態度	(1) 本時のめあてを解決するために、何を調べるとよいか見通しをもっている。□⇒B①②③⇒C①②③ (2) 今調べたり考えたりしていることが、学習問題の解決のためにどのようにつながっているのか理解している。□⇒B①②③⇒C①②③④ (3) 社会的事象について、実感や切実感をもつて調べたり考えたり、話し合ったりすることができる。□⇒A①②③④⑤⑥⑦⑧⑨ (4) 調べたことや考えたことを基に、今後の生活に生かせることはないか考えることができる。□⇒F①②③④						

…できていると判断した児童の姿

…今月実践の単元で目指す児童の姿

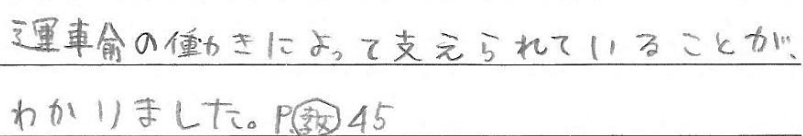
学習過程 観点	課題把握		課題追究		課題解決	新たな課題
	動機付け	方向付け	情報収集	考察・構想	まとめ	振り返り
手立て	A①身近なことを題材に挙げる。 □ A②資料提示の工夫（資料の一部を隠すなど）を行う。□ A③題材に対して気付きや疑問をもたせる。□ A④気付きや疑問を教師が意識的に仲間（キーワード）分けして板書する。✓ A⑤気付きや疑問に対して、問い返しをしながら、児童に予想を出させる。✓ A⑥自分の考えをもちやすい場面（予想など）で、自分と相手の意見が同じか違うか考えさせながら対話させる。✓ A⑦気付きや疑問を基に、調べていきたいことを考えさせる。✓ A⑧調べていきたいことを学習問題として書かせる。□ A⑨個別にもった学習問題を全体で交流し、学習問題を設定する。□	B①学習問題の解決のために何を調べるとよいかを考えさせる。□ B②調べるとよいか考えたことをグループに分けて、何から調べたらよいか考えさせる。□ B③学習問題の解決のために何を調べるとよいか調べの方法を考えさせる。□	C①学習問題を確認する。□ C②調べたことを図や表に表し、単元全体を見通すことができるようにする。□ C③学習問題と学習計画を教室内に掲示し、常に振り返らせる。□ C④調べた内容（視点）を確認する。□ C⑤調べた内容について、予想をさせる。□ C⑥資料（写真、教科書等の文章等）を一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。□ C⑦教師が提示した資料で調べさせる。□ C⑧立場ごとに、資料を分けて提示する。□ C⑨様々な資料を見せ、読み取りの視点を増やす。□ C⑩学習問題や学習課題（本時のめあて）の解決に必要な情報であるのか考えさせる。□ C⑪調べた内容をペアやグループで伝え合わせ、確認させる。□ C⑫調べた内容について、問い返して、事実を相互に関連付けて考えさせる。□ C⑬学習問題について、学習課題（本時のめあて）とのつながりを考えて記述させる。□	D①事実を調べた後に、意味を問う疑問を段階的に挙げる。✓ D②調べた事実と考えを明確に分けさせる。✓ D③根拠となる資料を確認する。✓ D④話し合いの目的・ゴールを示す。✓ D⑤考えをペアやグループで伝え合わせる。✓ D⑥視点の基に、考えをもたせる。✓ D⑦視点同士を比較させ、考えをもたせる。□ D⑧まとめ方を例示する。✓ D⑨キーワードを挙げる。✓ D⑩まとめ方に関する判定基準を示す。✓ D⑪提示物を活用し、これまでの学習を振り返らせる。✓	E①単元全体のまとめ方を例示する。□ E②キーワードを挙げる。□ E③単元全体のまとめ方に関する判定基準を示す。□ E④ノートやワークシート、掲示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。□	F①新たな学習問題を提示する。□ F②社会的問題を含んだ資料を提示し、学習問題を設定する。□ F③ゲストティーチャーに新たな学習問題につながる情報を話してもらい、□ F④学んだことと自分たちの生活（自分自身でできること）をつなげて考えさせる。✓

…現在取り入れていると判断した手立て

…今月実践の単元で取り入れることを決定した手立て

単元「工業生産を支える」

目指す姿（知識）
個別の具体的な知識に関する内容を関連付けて（つなげて）、記述することができる。
取り入れた手立て（手引きの記号、番号）
学習問題を確認する。（C①） 調べた内容をペアやグループで伝え合わせ、確認させる。（C⑪） 調べた内容について、問い返して、事実を相互に関連付けて考えさせる。（C⑫）

児童のワークシートの記述を基に、以下のA、B、Cの判定基準で評価を行った。 A キーワードとなる言葉を3つ以上（中小工場、技術、協力）使って記述している。【2名】 B キーワードとなる言葉を2つ（中小工場、技術、協力の内2つ）使って記述している。【10名】 C Bに達していない。【11名】
【抽出児の記述】 
【考察】 これまでの実践では、児童が個別の具体的な知識に関する内容を総合して（まとめて）、記述することができることを目指していたが、成果が十分に出ていなかったために、本単元では、関連付けて（つなげて）記述することができることを目標とした。M児の学習問題のまとめの記述を読むと、個別の具体的な知識のみを使って記述しており、このような記述が全体の約50%を占めていたことから、十分な成果が出ていないと考える。また、評価Bの記述を読むと、「中小工場」というキーワードを使った児童が少なかった。今後は、C①の手立てだけでなく、C②の手立て「調べることを図や表に表し、単元全体を見通すことができるようにする」を取り入れ、学習問題のまとめの記述を行わせたい。

目指す姿（技能）
学習問題や学習課題（本時のめあて）を解決するために有用な情報を選んで読み取っている。
取り入れた手立て（手引きの記号、番号）
資料（写真、教科書等の文章等）を一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。（C⑥） 教師が指示した資料で調べさせる。（C⑦） 立場ごとに、資料を分けて提示する。（C⑧）

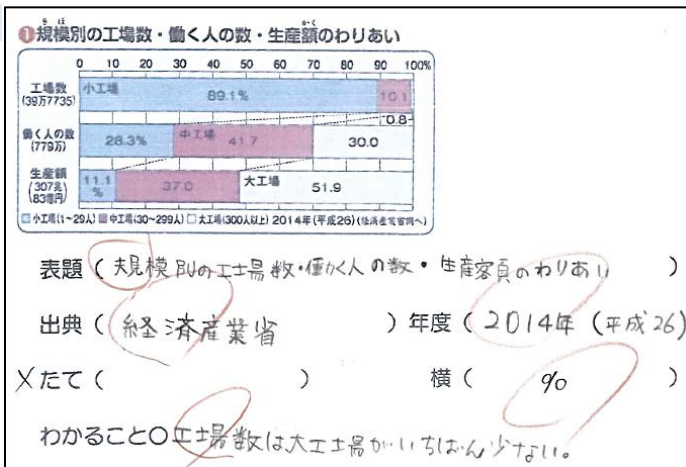

児童のワークシートの記述を基に、以下の A, B, C の判定基準で評価を行った。※未提出：2 名

A 一つの資料から、複数の有用な情報を読み取っている。【12 名】

B 一つの資料から、有用な情報を読み取っている。【4 名】

C B に達していない。【5 名】

【抽出児の記述】



【考察】

11 月実践に比べると、学習問題や本時のめあてを解決するために有用な情報を選んで読み取ることができた児童が増えた。11 月実践で取り入れていた C⑦と C⑧の手立てに加え、C⑥の手立てを取り入れたことで、児童はそれぞれの資料がどのようなことを示すのかを理解することができ、有用な情報を読み取ることにつながったと考える。M児は時間が足りず、複数の情報を読み取ることができなかった。調べる学習活動の時間を十分に確保することも課題である。今後も C⑥、C⑦、C⑧の手立てを継続して取り入れていきたい。



1 月実践へ

研究委員の振り返り

資料 1 と資料 2 は、B 校第 5 学年において授業の質的改善に取り組まれた B 先生の手引きです。質的改善に取り組みながら、児童ができるようになったことが増え（資料 1）、教師が取り入れた手立てが増えていくことが分かります（資料 2）。B 先生は、10 月の実践において、手引きに掲載している手立てをそのまま取り入れるだけでなく、児童の実態に応じて手立てが更に機能するような細かな手立ても同時に取り入れていました（13 頁参照）。B 先生は、質的改善のスタート時、適切な評価方法について自身の課題をもたれましたが（4 頁参照）、その後、学習過程「課題解決（考察・構想）」を中心に、日々の授業の質的改善に取り組みながら、自身の授業力だけでなく、児童の姿を見取る力も高めていかれたと思います。

子供たちはできていますか。チェックしてみましょう。困り付かない場合は、⇒が示す手立てについて自分の指導を振り返ってみましょう。					
過程	課題把握	方向付け	情報収集	考察・構想	課題解決
知識					
技能 (知識する 読み取る まとめる)					
思考力、 判断力、 表現力等					
主体的に学 習に取り組 む態度					

資料 1 B 先生が実際に使用した手引き（資質・能力）

先生は、手順 1・手順 2 で示した手立てを取り入れたら、意識して行っていますか。チェックしてみましょう。困り付かない場合は、授業に取り入れてみましょう。					
学習過程	課題把握	方向付け	情報収集	考察・構想	課題解決
主な学習 過程の例	●学習課題を設定する。 ・社会的現象を知る。 ・気付きや疑問を出し合う ・学習課題を明確にする。 ・学習課題を設定する。	●課題解決の見通しを持つ。 ・予想や仮説の検証に向けて調べる。 ・調査方法、追究方法を明確にする。 ・学習計画を立てる。	●予想や仮説の検証に向けて調べる。 ・学校外での観察や調査などを通して調べる。 ・様々な種類の資料を活用して調べる。 ・他の児童生徒と情報を交換する。	●社会的現象の意味や原因、特色や相互の関連を考察する。 ・多面的・多角的に考察する。 ・話し合う（討論等） ●社会に現れる問題を把握して解決に向けて構想する。 ・複数の立場や意見を踏まえて解決に向けて選択・判断する。	●考察したことや構想したことをまとめる。 ・学習課題を振り返って、結論をまとめる。 ・結論について他の児童生徒と話し合う。 ・学習課題についてレポートなどにまとめる。
主体的・対 話的で深い 学びの場 点から見た ポイント	○児童に気付きや疑問を持たせてから、学習課題を設定する。	○設定した学習課題を基に、学習計画を考えさせる。	○室内活動の中で、学習課題と当時のめあて（学習課題）とのつながりを意識させる。	○肩に付けた疑問の活用を促す学習課題（疑問）を設定する。 ○調べた後に、調べたことが課題に、考えさせる。	○学習課題について考えさせ、その後、結論を導くことを考えさせる。 ○意見を振り返り、日常生活で生かせることはないか考えさせる。
手立て	A①身近なことを題材に挙げる。 A②資料提示の工夫（資料の一部を隠すなど）を行う。 A③題材に対して気付きや疑問を持たせる。 A④気付きや疑問を教師が意図的に仲間（キーワード）に分けて板書する。 A⑤気付きや疑問に対して、問い返ししながら、児童に予想を出させる。 A⑥自分の考えを持ちやすい場面（予想など）で、自分と相手の意見が同じか違うかを考えさせながら対話させる。 A⑦気付きや疑問を基に、調べていきたいことを考えさせる。 A⑧調べていきたいことを学習課題として書き出す。 A⑨個別に持った学習課題を全体で交流し、学習課題を設定する。	B①学習課題の解決のために何を調べたいのかを考えさせる。 B②調べたいことを考えたことをルーピングし、何から調べたいかを考えさせる。 B③学習課題の解決のために調べたいことを調べさせる。 B④調べたいこととどのような情報が必要かを考えさせる。	C①学習課題を確認する。 C②調べたいことを図や表に表し、単元全体を見通すことができるようにする。 C③学習課題と学習計画を教室内に掲示し、常に振り返らせる。 C④学習課題の解決のために調べたい内容を整理する。 C⑤調べたい内容について、予想をさせる。 C⑥資料（写真、教科書等の文章等）を一つずつ確認し、どのようなことが分かる資料なのか考えさせる。 C⑦限定した資料で調べさせる。 C⑧立場ごとに異なる資料を分けて提示する。 C⑨様々な資料を見せ、読み取りの視点を増やす。 C⑩問題の解決に必要な情報があるかを考えさせる。 C⑪調べた内容をペアやグループで伝え合わせ、確認させる。 C⑫調べた内容について、問い返して、事実相互を関連付けて考えさせる。 C⑬学習課題について、学習課題（本時のめあて）とのつながりを意識して記述させる。	D①学習課題を調べた後に、意味を問う発問を段階的に行う。 D②調べた事実と考察を明確に分けるようにさせる。 D③根拠となる資料を確認する。 D④話し合いの目的・ゴールを示す。 D⑤話し合いの視点を考える。 D⑥自分の考え（予想など）を持ちやすい場面で、ペアやグループでの話し合いの時間を設定する。 D⑦話し合った内容のまとめ方を提示する。 D⑧キーワードを挙げる。 D⑨まとめ方に際する判定基準を示す。 D⑩提示物を利用し、これまでの学習を振り返らせる。 D⑪よく書いている児童の考えを紹介する。	E①単元全体のまとめ方を例示する。 E②キーワードを挙げる。 E③まとめ方に際する判定基準を示す。 E④ノートやワークシート、提示物などを活用し、これまでの学習を振り返らせる。 F①新たな学習課題を提示する。 F②自分の調べ方や学び方、結果を振り返る。 F③学習成果を学校外の他者に伝える。 F④新たな問い（課題）を見いだしたり追究したりする。 F⑤学習課題について考えさせ、その後、結論を導くことを考えさせる。 F⑥意見を振り返り、日常生活で生かせることはないか考えさせる。

資料 2 B 先生が実際に使用した手引き（手立て）

※資料 1 と資料 2 は今年度の研究当初のものです。質的改善の推移は、修正を図ったものを基に示しています。

最後に全 6 回の研究委員会を終え、6 月から 11 月までの質的改善の日々を振り返った B 先生の記述を紹介します。

社会科の単元づくり，授業の方法について学ぶ機会を頂き，とても勉強になりました。研究の流れについても，色々と教えていただき，今後の自分の実践にも役立っていくと思います。貴重な場を与えていただき，ありがとうございました。社会科の授業がとても楽しくなりました。

